

## 博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学	分野	理学療法学
学籍番号	16s3031	院生氏名	邵 双燕
通学キャンパス	大田原キャンパス		
論文題目	新たに考案したDiamond Stepsのバランス評価指標 および練習課題としての検証		
審査結果(枠で囲む)	合格		不合格
<p>&lt;審査結果の要旨&gt;</p> <p>【博士論文の概要】 邵 双燕氏の博士論文の概要は、以下の通りである。 一辺の長さが身長<math>\frac{1}{2}</math>、頂点60度と120度の菱形図形上をステップさせるオリジナルな課題を用いてバランス評価としての信頼性および妥当性を検討した。その後、本動作を用いたバランス練習介入前後での有効性を検討した。本ステップ課題の級内相関係数は高値を示し、反応性姿勢制御、予測的姿勢制御、動的安定性、静的安定性、安定性限界、感覚機能、運動機能などのバランス要素が含まれることを明らかにした。さらに、65歳以上の地域在宅高齢者へこの動作を用いてバランス練習の長期効果と維持効果を示し、介入による新たな知見を構築し、菱形図形上のステップ課題の評価および動作としての有用性を示唆した。</p> <p>【研究方法(倫理)と論文の構成】 国際医療福祉大学研究倫理審査委員会の承認(承認番号:16-Io-164, 16-Io-219, 18-Io-21)を得て実施されており、倫理的配慮に問題はない。研究方法は、課題ごとに適切な分析方法で検討され、論文は課題背景や主題全般で論述されている。</p> <p>【研究の新規性について】 本研究の新規性は、菱形図形上をステップさせるオリジナルな課題を用いてバランス評価としての信頼性および妥当性を検討したうえで、本動作を用いたバランス練習介入前後での有効性に関して地域在住高齢者を対象に明らかにした点にある。本研究は場所や道具を必要とせず、介護予防やフレイル対策の選択肢の一つになる可能性を探る研究として評価できる。</p> <p>【審査経過と口頭試問の結果】 平成30年12月6日に審査委員全員が出席のうえ、審査会を開催した。審査員からの指摘事項に対して博士論文の修正が丁寧かつ慎重になされ、適切に修正された。口頭試問に対しても適切に応答した。</p> <p>【合否判定】 以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が博士(保健医療学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	<p style="text-align: center;">主 査 久保 晃</p> <p style="text-align: center;">副 査 谷口 敬道</p> <p style="text-align: center;">副 査 柗 幸伸</p>		